

「信州ハム SDGs 基金」助成金実績報告書

2025年 6月 10日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 松本市神林 2327-15

団体名 ヒッポポ食堂

代表者職氏名 小山 深雪



「信州ハム SDGs 基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

信州ハム SDGs 基金 (2023 秋助成)

2. 助成金活動内容 (この事業で具体的にやったこと)

松本市の神林公民館で月に一回開催。神林地区の子どもたちとその保護者の他に、菅野小学校にメール配信をして頂き学区内の子どもたちも参加した。実施期間中の延べ参加者数は、子ども約 430 名 大人約 220 名 計約 650 名でした。

活動内容は多世代交流を目的としたイベント (夏祭り、クリスマス会、正月の餅つき、大道芸の観劇、体育館を利用した遊び、親子工作など)、学生ボランティアによる学習支援、昼食の提供、地域の農家様から寄付を頂いた農作物およびフードドライブによる集まった食品等を参加家庭に配布をしました。

3. 事業の成果 (この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか)

- ・食事提供：毎月子どもが食べやすく栄養バランスを考慮したメニューをボランティアスタッフと考え提供しました。
- ・学習支援：学習ルームを用意し、学生ボランティアが希望する子どもに対して学習支援を行いました。多世代交流も含め学力向上に貢献できました。
- ・イベント：ミニ縁日は、お祭り気分を味わい楽しい時間を提供できました。大道芸の観劇では、子どもたちは大興奮で普段なかなか経験できないことをできたと感じの声を頂きました。

(様式第3号)

・食料配布：物価高で困っているご家庭に沢山の物資を配布することができました。自宅でも子どもたちをお腹いっぱいにすることに貢献できました。

4 寄付者様へのご報告（メッセージ）

この度の助成金、子どもたちの為に大切にに使わせていただきました。
ありがとうございました。
この助成金で沢山の子どもたちを笑顔にできました。「とっても楽しかった」「また来るね」「今度はゲームやろう」と子どもたちはいつも楽しみにしてくれています。
保護者や地域の方々にも感謝の声を頂きました。
今後も子どもたちが安心できる居場所となるべく、継続して頑張っていきたいと思えます。また、このような支援の輪が広がることを期待します。この度は本当にありがとうございました

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付書類）

- (1) 収支報告書（様式第3-1号）
- (2) 収支報告書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）





なげ







あみ

再発防止へ緊急要請
何故か知らず、結果的に...

月本本店に感謝の手紙









「信州ハム SDGs 基金」助成金実績報告書

2024年 7月 10日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 長野県飯田市龍江 4299 イ
団体名 もぐもぐキッチン・ララ・ランチ
代表者職氏名 林 静子



「信州ハム SDGs 基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

信州ハム SDGs 基金 (2024 春助成)

2. 助成金活動内容 (この事業で具体的にやったこと)

子ども料理教室或いは弁当配布を毎月 2 回実施しました。またその時に併せて食材配布も実施しました。料理は最初は簡単なレシピから始め、段々に回を重ねるごとにレベルアップさせました。

特に 12 月はクリスマス月であるので 12/8 五平餅作り・食材配布、12/20 食材配布、12/22 パイキング料理作り・食材配布、12/28 食材配布を実施しました。

会場は飯田市上郷公民館の調理室、スタッフは 5 人 (管理栄養士 3 人、学校指導主事 1 人、民生児童委員 1 人)、高校生以下は無料で実施しました。

3. 事業の成果 (この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか)

子どもだけでも料理が出来るようになりました。ある親からは自分の帰宅が遅くなった時に子どもが食事の用意をして待っていてくれたと感謝されました。

単に料理をするだけでなく衛生管理 (手洗い・消毒・身支度等) 意識が出来上がりました。また、終了時に全員で後片付け掃除をする習慣が出来ました。

管理栄養士のスタッフは最終的には食育を目標にして活動したが、料理を通して親子間・子ども間・親間のコミュニケーションが生まれ、前向きな気持ち (自己肯定感みたいなもの) が生まれてきたと感じます。

4 寄付者様へのご報告（メッセージ）

寄付を頂きありがとうございました。

もぐもぐキッチン・ララ・ランチは定期的に子ども料理教室・弁当配布・食材配布を実施していますので、慢性的に資金不足でありますので今回の助成金有効に使わせていただきました。もぐもぐキッチン・ララ・ランチのスタッフは70代ですが、地域にPRして若いスタッフを募集して（ボランティア高校生が延10人活動に参加してくれています。）今後も活動を継続して参る所存ですので宜しくお願い致します。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付書類）

- (1) 収支報告書（様式第3-1号）
- (2) 収支報告書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）





伝統野菜PRへ商品化

天龍村の伝統野菜「3度目の来村で計画を進める」
 天龍村の伝統野菜「3度目の来村で計画を進める」
 天龍村の伝統野菜「3度目の来村で計画を進める」



開発中の野菜の試作を行う学生たち



今年秋は、はるかぶり(或田井)で「よびとす」に挑戦したことをテーマにした本を紹介しよう。

『よびとす 1の2冊』
 今年秋は、はるかぶり(或田井)で「よびとす」に挑戦したことをテーマにした本を紹介しよう。



『よびとす 1の2冊』
 今年秋は、はるかぶり(或田井)で「よびとす」に挑戦したことをテーマにした本を紹介しよう。

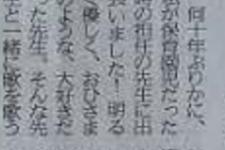
地域の大人と七夕祭り

飯田市名古熊地区恒例の「令和6年七夕祭り」が7月27、28日の両日、名古熊公民館で開催された。地区内外の小学生が参加し、地域の大人と七夕祭りを楽しみ、夏休みの思い出をつくる機会となった。

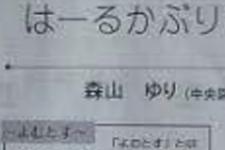


願いを込めた短冊を飾った

飯田市名古熊地区恒例の「令和6年七夕祭り」が7月27、28日の両日、名古熊公民館で開催された。地区内外の小学生が参加し、地域の大人と七夕祭りを楽しみ、夏休みの思い出をつくる機会となった。



『楽しいオーケストラ図鑑』
 何十年ぶりに、この本が出版された。



『歳時記を唄った童謡の謎』
 何十年ぶりに、この本が出版された。



『はるかぶりに』
 何十年ぶりに、この本が出版された。



『童謡の謎』
 何十年ぶりに、この本が出版された。



『はるかぶりに』
 何十年ぶりに、この本が出版された。

8月3日(土) 日6月29日(仏滅)

予報気温 37℃ 洗濯情報 24℃

6時	12時	18時	24時	翌0時
晴	晴	晴	晴	晴
20%	40%	50%	30%	

洗濯情報 90 洗濯機情報 よく乾く

前4日の最低気温

7月1日(休)	7月2日(日)	7月3日(月)	7月4日(火)
29.2	28.1	27.5	26.8
日出 4:55	日出 4:13	日出 4:35	日出 4:13
日入 18:54	日入 19:05	日入 18:54	日入 19:05

子ども食糧配布

飯田市のボランティア団体「もももも」が、市内各小学校で子ども食糧配布を行っています。

配布期間：8月3日(土) 午後4時～午後6時

配布場所：飯田市立中央小学校、飯田市立南小学校、飯田市立北小学校

お問い合わせ：事務局 0265-22-3700

子ども食糧配布

飯田市のボランティア団体「もももも」が、市内各小学校で子ども食糧配布を行っています。

配布期間：8月3日(土) 午後4時～午後6時

配布場所：飯田市立中央小学校、飯田市立南小学校、飯田市立北小学校

お問い合わせ：事務局 0265-22-3700

丸西産業株式会社 農産センター

農産物加工作業、農産物の収穫選果等

8月下旬～12月下旬 9:00～15:00

TEL: 0265-48-5650

自転車から車両まで販売・修理の店

（自転車安全整備士技能有）

引取・納車いたします

リンリンハウス 創業38年

きたはら

飯田市白山町3丁目東1-1 TEL: 0265-22-5362

額縁画廊

即日配送可能!!

TEL: 0265-22-2775

石雲堂印房

篆刻・書道・印刷

TEL: 0265-22-4433

後藤医院

院長 後藤由也

診療時間：8/13-14 休診8/15-18

TEL: 0265-24-6557

丸井亭

各種ご宴会

TEL: 0265-22-0349

丸井亭

各種ご宴会

TEL: 0265-22-0349

急募 正社員 パート アルバイト

勤務時間：正社員 平日15時～23時 土・日・祭日10時～

TEL: 25-8989

丸西産業株式会社

TEL: 0265-48-5650

丸井亭

各種ご宴会

TEL: 0265-22-0349

丸井亭

各種ご宴会

TEL: 0265-22-0349

焼肉 大紋

TEL: 25-8989

「信州ハム SDGs 基金」助成金実績報告書

2025年 1 月 28 日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 長野県安曇野市豊科 4932 番地 13

団体名 一般社団法人 笑顔の花

代表者職氏名 茅房 栄美



「信州ハム SDGs 基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

信州ハム SDGs 基金 (2023 秋助成)

2. 助成金活動内容 (この事業で具体的に行ったこと)

事業名：こどもの居場所づくり事業 みんなのごはん会
開催地：安曇野市 豊科新田公民館、堀金公民館、マザーハウス
期 間：2024年5月～2025年3月 合計19回予定 (1月現在17回開催)
年齢や性別、障がいの有無に関わらず美味しく楽しく食を通じて笑顔になれるの居場所づくりに努めました。野菜や卵、米や穀物なども地元安曇野信州産を選ぶように地産地消を心掛けました。私たちの口に運ばれる食べ物のルーツを辿り、育ててくれた農家さん、作ってくれた方々に対する感謝の心をはぐくんだり、食育を学ぶ場ともなりました。

3. 事業の成果 (この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか)

0歳の赤ちゃんから高齢者までの多世代交流と地域の居場所となりました。子どもが楽しめる生花教室や、紙芝居好きの祖父母世代のサポートもあり、経験や知識を生かしていただく場ともなりました。また不登校や発達障がいの子ども達、親にとっての居場所にもなりました。大人数が苦手な子や家族向けに小さなごはん会を開くなど、個々の家族の声に寄り添い楽しめる場を作れるよう心掛けました。障がい児家族が地域と繋がり交流の場も広がりました。このような機会が地域の孤立を防ぎ心が通える場となるように、学びに繋げてより良い場づくりを目指します。

(様式第3号)

4 寄付者様へのご報告（メッセージ）

私たちがごはん会の基軸は年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もが楽しめるインクルーシブな場づくりを目標としています。参加者が様々で回数を重ねるごとに気づきや発見があり勉強させていただいております。次はいつやるの？と楽しみにしてくれている子どもさんやご家族の笑顔のためにも、来年度も続けて行けるようにがんばります。地域がひろがる多様なコミュニティ形成と、子育て支援と地域が繋がるネットワークづくりの場として、より良い会を続けて行きたいと思っております。この度は、ご支援いただきありがとうございました。感謝申し上げます。

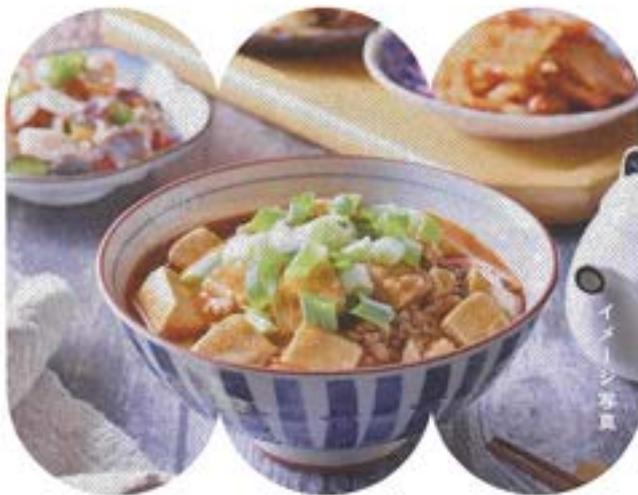
5. 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付書類）

- (1) 収支報告書（様式第3-1号）
- (2) 収支報告書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）

みんなで食べると おいしいね いいじかん



子育ての大変さシェアしよう
ママの笑顔がいちばん



メニューは夏野菜たっぷり！
マーボー丼メインに予定しています。

みんなのごはん会

堀金公民館 OPEN 17:00-19:00

月一開催

おとな500円～
小学生200円 中高学生300円
ひとり親の子・障がい児・未就学児無料



予約制なので、QRまたは電話から
申し込んでね！

いつもの暮らし、いつもの日常を笑顔でハッピーに
— ぼちぼち、ゆっくり、ひと息ついて行こう



赤ちゃんからおとなまで

多世代が集まりおしゃべりできる「みんなのごはん会」食を通じて「おいしいね」「嬉しいね」「助かるなあ」ママの気持ちに寄り添えたり、食を通じて家族みんなの笑顔やよろこびに繋がったらうれしいなあと思います。



たまには楽したいよ～

休むことのない毎日の家事育児、おつかれさまです。「たまには手抜きしたいし楽しみたい♪」子育てはほんと大変です。だからこそ、みんなで助け合って行こう～！



まあいいっか～

話すことでスッキリ！悩みはゼロにマイナスに、喜びは倍に倍に膨らんでいきます。肩の力を抜いてリラックス「まあいいっかあ～」と思える時間って大切ですよ。



ママの心はひとつ

ママの笑顔は子どもの元気の源～そんな思いから活動が始まりました。はじめた私たちも同じ子育て中のママ。ごはん会と一緒に楽しんでくれる仲間を募集しています。下のQRより繋がってくださいね。



命のバトンリレー

お家に余っているお米や野菜の農産物調味料、缶詰、乾物など、ごはん会の食材に活かして行きます。右QRもしくは問い合わせ先にご連絡ください。



問い合わせ先

新田区広報担当 かやふさ えみ
安曇野市子どもの居場所づくり支援事業
みんなのごはん会 主催：一般社団法人 笑顔の花
080-7492-0817 <http://www.egaonoahana.org>

令和6年度 みんなのごはん会

一般社団法人 笑顔の花

回数	日付	場所	大人	子	内容
1	5月16日	マザーハウス	6	7	多世代交流
2	5月28日	マザーハウス	5	8	食育・多世代交流
3	6月1日	マザーハウス	8	9	インクルーシブ教育
4	6月16日	マザーハウス	9	7	子育て相談会
5	6月22日	マザーハウス	7	8	多世代交流
6	7月26日	新田公民館	10	12	新田みんなのごはん会
7	7月31日	ロッソピアンコ	12	16	夏休み子ども食堂 親子の学び企画
8	8月24日	新田公民館	16	21	夜・みんなのごはん会
9	8月26日	マザーハウス	9	8	発達・自閉 障がい児 子育て相談会
10	9月28日	新田公民館	15	15	夜・みんなのごはん会
11	10月19日	堀金公民館	10	8	昼・ごはん会 お花サロン&学習支援
12	10月26日	堀金公民館	19	30	夜のごはん会
13	11月30日	新田公民館	20	22	夜・ごはん会
14	12月8日	新田公民館	10	9	親子手話交流・ごはん会
15	12月14日	新田公民館	20	22	クリスマス・ごはん会
16	12月21日	新田公民館	8	6	障がい児家族のための・小さなごはん会
17	1月26日	新田公民館	6	7	障がい児家族のための・小さなごはん会
18	2月16日	新田公民館			
19	3月10日	新田公民館			
20	3月20日	新田公民館			

190 215

開催数：20回

参加人数合計： 405 人



子どもを見守りながら、楽しくおしゃべり



古付いたももから、新しい遊びが始まる

ごはん会の様子

地域の多世代交際の居場所として
月1〜2回のごはん会を開催。
遊具を用意し子ども達が遊びを
思いっきり楽しめる空間を用意。
親は子どもの様子を見守りながら
楽しくお話ししたり食事をします。
参加者同士、安心安全を第一に
子どもの見守りもしました。

「信州ハム SDGs 基金」助成金実績報告書

2025年3月19日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 安曇野市穂高柏原 1132 番地 2

団体名 NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団

代表者職氏名 代表理事 望月 彰



「信州ハム SDGs 基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

信州ハム SDGs 基金 (2024 春助成)

2. 助成金活動内容 (この事業で具体的にやったこと)

小中学生を対象にした、子ども達が自ら考え主体的に学ぶフィールドワーク主体の探究的な地域学習。教えるのではなく、子ども達が気づき、考えることを重視し、写真や図主体のワークシートや解説フリップ等を作成し、楽しみながら学べるように工夫。対象学年や学校のニーズに合わせて対応する、オーダーメイドのプログラム。

3. 事業の成果 (この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか)

ぬかくど体験 4 講座 (4 校 9 クラス)、謎解きウォーク 2 講座 (2 校 3 クラス)、謎探しウォーク 2 講座 (2 校 3 クラス)、課題解決型探究 1 講座 (1 校 3 クラス) の計 9 講座 (9 校 18 クラス) で実施した。多くの子ども達が、フィールドワークやワークショップ等を通して、探究的な学びを体験することができた。

4 寄付者様へのご報告（メッセージ）

おかげさまで、今年度は昨年度の4講座（4校6クラス）を大きく超える9講座（9校18クラス）で実施することができました。2021～2023年度の長野県元気づくり支援金の助成が終了し資金の確保が課題となっている中で、今回の助成金がとても役に立ち、感謝しています。

次年度以降も長野県みらい基金等を活用し、教育委員会等と連携して事業を継続予定ですので、引き続きご支援とご協力をお願いします。活動内容の詳細は、下記サイトをご参照ください。

ふるさと探究安曇野：<https://azumino-sanpo.info/furusato-tankyu-azumino/>

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付書類）

- (1) 収支報告書（様式第3-1号）
- (2) 収支報告書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）

【ふるさと探究2024（県内学校講座）】

	月 内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
課 題 解 決	豊科南中3年		31日 ガイダンス	14日 フェールFA		26日 ガイダンス	6日 まとめ	21日 発表					
				21日 フェールFB		30日 フェールF	17日 まとめ						
				28日 マツ作り									
課 題 探 し	堀合小4年			25日 ガイダンス	8日 フェールF1組		30日 ふりかき	29日 フェールF1組					
					9日 フェールF2組			30日 フェールF2組					
	豊科北小3年				18日 ガイダンス				6日 ふりかき				
									15日 フェールF				
課 題 さ	堀合小3年						24日 フェールF1組						
							25日 フェールF2組						
	豊科東小4年							23日 フェールF					
あ か く ど	堀合小3年											21日 1組2組	
	二子小3年								26日 1組				
	波田小6年									9日 3組4組			
										16日 1組2組			
	豊科北小3年												3日 1組 4日 2組3組

ふるさと探究安曇野2024(学校講座)



堀金小3年謎解きウォーク ～ フィールドワーク



堀金小4年謎探しウォーク ～ ワークショップ



豊科北小3年謎探しウォーク ～ 発表



豊科東小4年謎解きウォーク ～ ワークショップ



豊科南中3年課題解決型探究 ～ フィールドワーク



堀金小3年ぬかど体験 ～ お米の話

「信州ハムSDGs基金」助成金実績報告書

2024年 9月3日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地 北安曇郡池田町池田4371-1
団体名 実家の茶の間
代表者職氏名 代表 曾根原鈴木



「信州ハムSDGs基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

信州ハムSDGs基金（2023秋助成）

2. 助成金活動内容（この事業で具体的にやったこと）

夏休み応援企画3日間 8月4日6日7日
高瀬川での自然観察の学習支援と川遊び
テントを購入して野外で食事と計画していましたがテントが間に合わず、一日目橋の下と、2日目木陰と、3日目以前の壊れたテントを木に括り付け、間に合わせました。申請時にお知らせしている10月に予定の芋掘り、焼き芋の時には活躍します。

3. 事業の成果（この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか）

他のイベントが重なったりして参加者が減ったので、同じことをしたのでは来年の参加が見込めないように感じました。学習内容を検討しなければと他の計画立案しています。しかし今年はその中でも保全活動する大人たちが加わり、石の観察で、夏休みの自由研究に張り切る子には、突っ込んだ学習自然体験になったと思います。昨年参加の子どもたちが今年も楽しみにしてくれていたのには励まされました。実はこの夏計画以外にお母さんからの要望があって、お泊り会でテントを張ってドラム缶風呂する予定でしたが、中心になっていた方がコロナになり、中止せざるを得ず残念でした。
予定外で9月に行われる八幡社の実家前ふるまいで沿道に設置、高瀬川火祭りでの甘酒のふるまいに活用しようと思います。

4. 寄付者様へのご報告（メッセージ）

私たちのグループはスタッフが高齢のため、普段の食事提供は高齢者が中心で、子どもたちの参加は、長期休みなどの野外活動が主になります。

今年度ほぼ1か月に1回は子どもたち中心のイベントを行う予定です。今回の助成で丈夫なテントの購入ができ、野外活動に心配なく取り組めます。テント手に入って計画内容が変わり、予定外の形で9月の八幡社例大祭での子どもによる無料ふるまい、屋台や、10月の火祭りイベントでも活用できそうで、大変ありがたううれしいです。うちで使わない時も、もったいないので同地域の他の子ども食堂のイベントに利用有効活用してもらえればと思っています。本当にありがとうございました。また今後のイベントが終わりましたら写真など送らせていただきます。取り急ぎテント購入できましたので、ご報告をさせていただきました。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付書類）

- (1) 収支報告書（様式第3-1号）
- (2) 収支報告書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）

これからのご報告になります。













Handwritten calligraphy on banners, including characters like 水 (water) and 花 (flower).

Handwritten calligraphy on banners, including characters like 水 (water), 花 (flower), and others.

HAKUEN
Handwritten calligraphy on a vertical banner.

Table with various items, possibly food or materials, arranged on it.



「信州ハム SDGs 基金」助成金実績報告書

2025年 4月 11日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地	〒396-0004 伊那市手良中坪 1452 番地
団体名	NPO 法人 山の遊び舎はらべこ
代表者職氏名	阿部 大輔



「信州ハム SDGs 基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

信州ハム SDGs 基金 (2023 秋助成)

2. 助成金活動内容 (この事業で具体的にやったこと)

- ・外部より講師をお招きし、ワークショップを開催した。
(それぞれデザイン、音楽、ことばのワークショップの計3回)
- ・助成金を使用しレンタカーを借りて新潟まで行き、釣りはじめとした海での活動を行うことができた。

3. 事業の成果 (この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか)

主に小学生の参加者を対象として、デザインのワークショップ：普段何気なく履いている靴の構造や作り方を学んだり、自分の足を実際に測ったり観察することを通して、靴のデザインについて考えた。/音楽のワークショップ：実際のピアノの演奏を聴き、その音楽から受け取った気持ちを、絵に描いて表現した。/言葉のワークショップ：実際に俳句を作ったり、詩を作ったりすることを通して、言葉のおもしろさをやそれぞれの言葉の感じかたを共有した。また、新潟までレンタカーで行き、海という子どもたちにとっては非日常的な場所で、釣りをしたり泳いだり、海の生き物に触れたり、心と体の感覚を大いに広げることができた。

(様式第3号)

4 寄付者様へのご報告 (メッセージ)

ご寄付をいただき、講師料に当てさせていただくことができたため、内部だけで行う活動にとどまらず、外部から講師をお招きし、子どもたちも新鮮な気持ちで活動に取り組むことができました。

今年度は3回のワークショップと海あそびを含む、宿泊2回、活動11回のプログラムを実施し、平均20名~30名の児童が1年を通して継続的に参加する、充実したプログラムを開催することができました。また、ワークショップの中には、中高生、大人も参加を希望する会もあり、様々な年齢層の関わりを持つことができました。

近年の燃料などの物価高騰のなか、頂いたご寄付でレンタカーを借りて、海なし県の長野から新潟まで出かけることができました。購入させていただいた釣り具などを使って、魚を釣り、それらを調理して食べるまで挑戦してみるといった、普段段々なかなか味わえない貴重な体験をすることができました。本当にありがとうございました。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類 (添付書類)

- (1) 収支報告書 (様式第3-1号)
- (2) 収支報告書の証拠書類 (領収書の写し等)
- (3) 活動の実施風景写真 (外部公開可能なもの)
- (4) その他参考資料 (事業の経過や成果を証するもの)





















人生の道

夢の中

❄️
❄️

夢の中





「信州ハム SDGs 基金」助成金実績報告書

2025年7月14日

公益財団法人長野県みらい基金 理事長 様

所在地	松本市梓川倭 2953-4
団体名	ポジ◎ラボ
代表者職氏名	丸山亜希  印

「信州ハム SDGs 基金」助成金について、下記のとおり報告します。

記

1. 冠基金名

信州ハム SDGs 基金 (2024 春助成)

2. 助成金活動内容 (この事業で具体的に行ったこと)

令和6年6月24日～令和7年6月30日

- SDGs の理解を深めるためのワークショップ
- 58回子ども食堂・学習支援・体験活動 (レクリエーション・運動) 食育

3. 事業の成果 (この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたか)

①学校の教科書が改訂され、SDGs の関連も意識したり学習の見直しをもつようになってきているが、タブレット等で検索する、本で調べるのみで探究活動につなげるのに困難を抱えています。総合的学習の時間を通して、当団体のスタッフが中学校に講義に行かせていただきました。

教員の労働時間が増加傾向にあり過度な負担がかかっている状況のため、忙しい先生方に変わり地域で支え合うことで子どもたちに多様な教育を推進することができました。

又、講義に参加した生徒がその後、当団体の居場所事業にボランティアとして携わる事が決まりました。未来の為に自分たちで何ができるかを考え、主体的に参画したいという声が生れたのが非常にうれしく思います。

③
コロナ禍で行事が縮小し、地域の方々と接する機会やご近所付き合いも減少傾向であり、孤食や食育も減ってきています。子ども食堂にくる親御さんから「うちの子は偏食がある」と相談されたり食べる前から「食べたくない」というお子さんもいるが、食堂へ来るとたいてい、普段食べないものが食べられることが多いとのことです。

子どもの頃からの経験を通して「おいしい」という感覚を育むことが大切であり、あまり好きではないものでも、おいしそうに食べるお友だちの姿に後押しされて好きになることもあります。「おいしい」理由には味付けなどの工夫も必要であるがそれだけでなく「他者との関わり」が大切であると実感しました。

【子ども食堂の参加者の声】

中学生より「毎週参加したい」「ここが楽しみだから頑張れている」と予約がある。友達同士で自主学习や、一緒に料理や片付けのお手伝いをしてくれます。

包丁が使えなかった子が使えるようになり、年下の面倒や受付などお手伝いができ、地域の方々とふれあえる機会となっています。

なかには麺類がうまくすすれない（近年、麺が給食や家庭で出ない子もいる）

「ゆで卵を初めて食べた」と話す生徒もおり、このままだと作り方を知らないまま大人になることも考えられます。

・不登校の子が子ども食堂へ顔を出せるようになってきており、他地区の生徒と積極的に会話ができ前向きな様子で良い変化がみられるようになりました。

学校や行政の理解や連携もとれてきており温かな輪が広がっています。

4 寄付者様へのご報告（メッセージ）

・当団体の子ども食堂は「スタッフがすべてやろう！」といったボランティアスタッフが抱えて運営するのではなく、参加者同士の子ども～高齢者同士が助け合い、声を掛け合い、やりがいや主体性のある居場所をみなさんでつくっています。ご支援いただいたおかげで継続で事業ができています。今後ともよろしく願いいたします。

5. 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付書類）

- (1) 収支報告書（様式第3-1号）
- (2) 収支報告書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）





視野を
広く持つ
自分だけ
ではなく
集団を見る
今だけ
ではなく
未来を見る

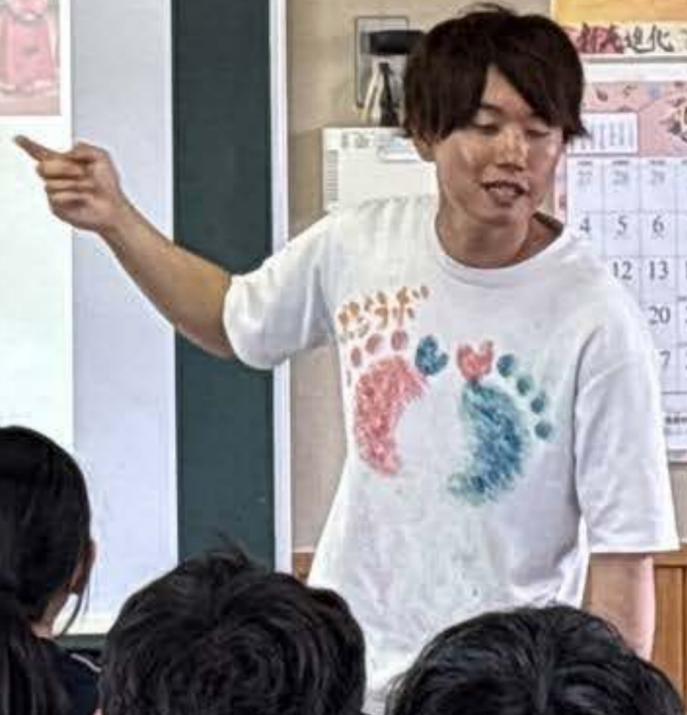
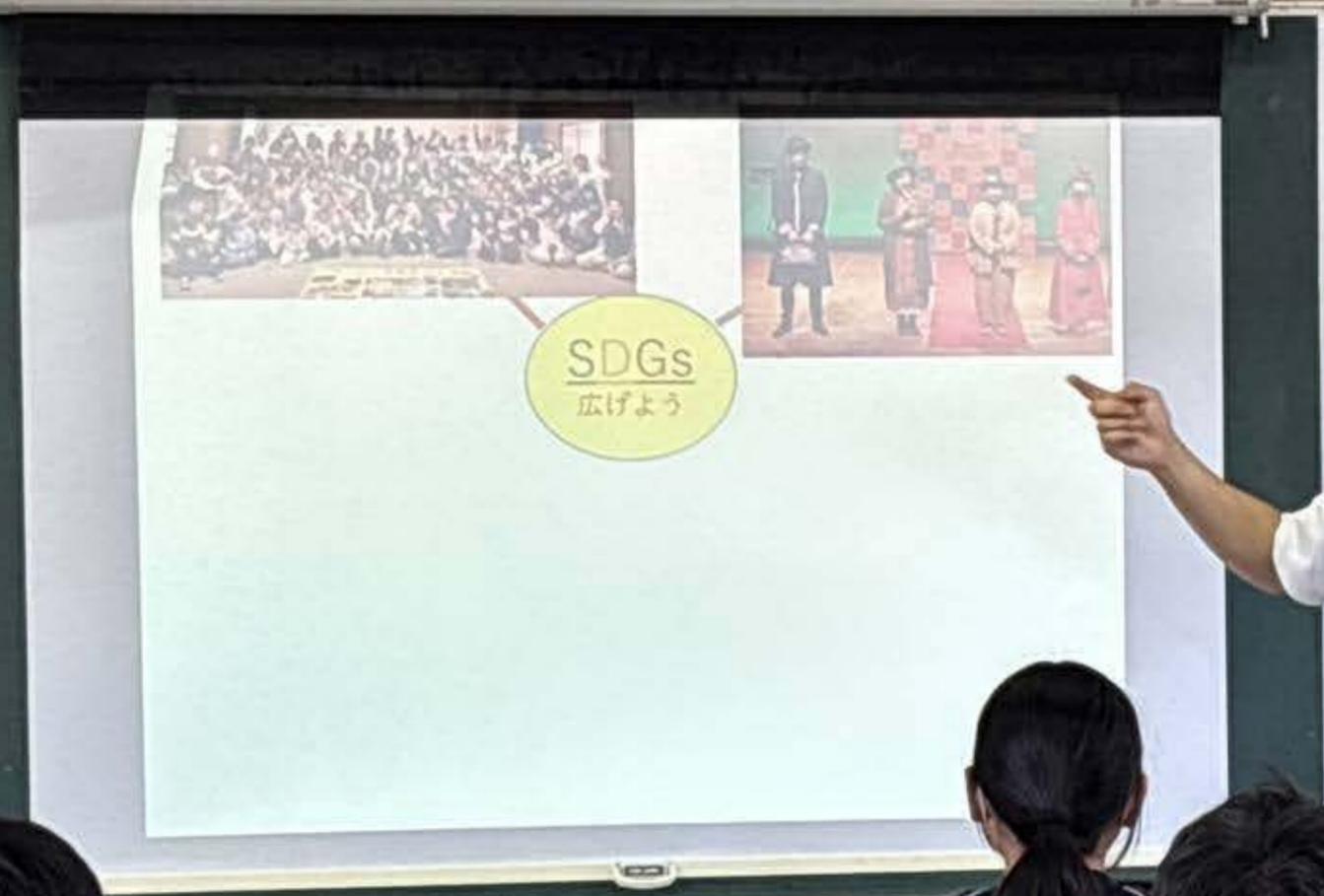
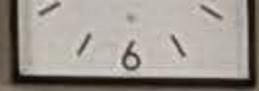
木工講座・追加連絡
〇自備と兼、ある人の方
を持ってきてください。
開催日時
〇開催終了後
〇お申し込み後、お電話にて
〇お申し込み後、お電話にて
〇お申し込み後、お電話にて
11月15日(土)開催

Team

上野 心愛

高橋 弘樹

視野を
広く持つ
自分だけ
ではなく
集団を見る
今だけ
ではなく
未来を見る





NICCA NICCA

Sifu
R...

